

- 5 本時の目標  
 (1) 幼児の体の発育の特徴を理解する。  
 (2) 幼児の運動機能の発達の様子について、発表ができる。

- 6 本時の評価規準  
 ○ 幼児の体の発達や運動機能の様子について理解できる。

評価	評価基準	状況に応じた支援
A	幼児の体の発達や運動機能の発達を理解し、課題をもって取り組んでいる。	○ 発表や話し合いの中で賞賛しながら支援する。
B	幼児の体の発達や運動機能について関心をもっている。	
C	幼児の体の発達や運動機能にあまり関心がない。	○ 発問の意味をわかりやすく説明し、話し合いに参加するよう支援する。

7 指導過程

段階	学習内容及び学習活動	形態	指導上の留意点と評価	資料準備
導入 10	1 本時の内容を知る。	A	○ 本時の目標について知らせ、関心をもたせる。 ○ 幼児のころの写真を見て、今の自分たちとの違いについて気づかせる。	幼児の写真 ハンドブック
	幼児の体の発育の特徴を理解しよう。 幼児の運動機能の発達のようにして発表しよう。			
展開 30	2 身長と体重の増加や、体型の違いについて調べる。	A 鍛認	○ 教科書やノートグラフを見て、身長や体重の増加や体型の違いの特徴に気づかせ、発表させる。	教科書 ノート
	3 幼児の運動について考える。		○ 幼児の運動には全身運動と先手の運動があることに気づかせる。 ○ 運動機能についてそれぞれ発表させ、確認させる。	カード カード
終末 10	4 運動機能の発達の道筋を考え、グループごとに発表する。	G 認高	○ 運動機能の発達の道筋について全身・手先の動作に分けて、各グループごとに話し合わせ、発表させる。 ◆ 幼児の体の発達や運動機能について関心をもつことができたか。(観察・発表) 発表や話し合いの中で補足説明し支援する。	ハンドブック
	5 運動機能の発達には、順序性と個人差があることに気づく。		○ 自分の幼児期の聞き取りの話からもう一度ふり返り、年齢ごとの発達段階を発表させる。	
	6 本時の学習をふり返り、深める。	A	○ 板書したことや発表したことをノートに記入させまとめさせる。	ノート
	7 次時予告をする。		○ 次時の学習内容を知らせる。	

8 自己評価項目

- |                               |   |   |   |   |
|-------------------------------|---|---|---|---|
| (1) 話し合いに協力して参加することができた。      | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (2) わかりやすく意欲的に発表できた。          | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (3) 学習内容をまとめることができた。          | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (4) 幼児の体の特徴や運動機能の発達について理解できた。 | 4 | 3 | 2 | 1 |